

TAKEHARA ROTARY CLUB ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2710
WEEKLY BULLETIN 竹原ロータリークラブ週報



会長	荒谷 隆文	副SAA	堀越 賢二
会長エレクト	木村 安伸	直前会長	下山 生修
副会長	夜船 正昭	管理運営	菅 義尚
幹事	久藤 孝仁	会員組織	本庄 純夫
副幹事	吉本きよ子	奉仕	土居 敏昭
会計	坂田 武文	広報	小坂 啓子
SAA	佐渡 文武	R財米山	藤中 保

四つのテスト

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのために
なるかどうか

<事務局> 〒725-0026竹原市中央4丁目6-18樋ノ口屋おおぎビル203号
TEL 0846-22-7570 FAX 0846-22-7651 Email:rc-take@estate.ocn.ne.jp
URL:http://www5.ocn.ne.jp/~rc-take/
<例会場> 〒725-0021竹原市竹原町3591-1 大広苑 TEL 0846-22-2970
<例会日> 毎週木曜日12:30~13:30 発行:クラブ広報委員会

本日のプログラム 2月7日	次週のプログラム 2月14日
誕生祝・各会員各記念日祝 誕生該当者会員卓話	国際奉仕委員会担当例会

2013年1月31日第2368回(自由席)例会記録

- ソング:我等の生業
□ゲスト:竹原市教育委員会
教育長 竹下 昌憲 様

・クマヒラ様より抜粋のつづり

会長の時間

各会員各記念日(2月)

- | | | |
|---------|-------|-------|
| □会員誕生日 | 金澤 節生 | 三好 静子 |
| □配偶者誕生日 | 大田 嘉弘 | 坂田 武文 |
| | 荒谷 隆文 | 夜船 正昭 |
| | 小坂 啓子 | |
| □結婚記念日 | 鴨宮 弘宜 | 松浦 一志 |
| □事業所創立 | 土居 敏昭 | 荒谷 隆文 |

スマイルボックス

- 特別スマイル
・竹原市教育委員会教育長 竹下昌憲様

幹事報告

幹事 久藤 孝仁

- ・ロータリーレート2月~ 1\$88円(現行1\$82円)
- ・会長エレクト研修セミナー開催の御案内
日時 平成25年3月3日(日)
場所 ホテルグランヴィア広島

会長 荒谷 隆文
皆さん、こんにちは。早いもので今日で一月が終わります。2月3日は節分、4日は立春と、暦の上では春ですが、まだまだ寒さは続きます。県内にインフルエンザが流行しておりますので、風邪予防をしっかりとされるようお願い致します。
本日は、竹原市教育委員会より竹下教育長にお越し頂いております。ご多忙の中を予定いただきまして誠に有難うございます。後ほど卓話を宜しくお願い申し上げます。
先週1月26日社会福祉法人聖恵会理事長、川崎俊和様の藍綬褒章受賞祝賀会に出席して参りました。小坂市長をはじめ、社会福祉、忠海コミュニティづくりの関係団体の皆さん120名の参加の中で、和やかな雰囲気で開催され、私も今年度竹原市の関係行事に参加しており、知り合いも増えましたので、皆さんとの会話の中で、ロータリーを小出しに広報して参りました。
さて、年度後半の行事ですが、これから台湾羅東クラブ訪問、家庭集会等計画されています。
又2月3日は市民ロードレースのぜんざい奉仕にはクラブより多数参加頂けるようです。奉仕プロジェクト委員会の皆さんどうぞ宜しくお願い致します。それから地区行事ですが、2月10日第5期RLIパート1、2月17日はグループ9インターシティーミー

ティング、3月5日は4クラブ合同例会、3月10日は尾道RC創立60周年記念、そして3月23日は新入会員合同研修セミナーが予定されておりますので御協力宜しくお願い致します。

委員会報告

□クラブ管理運営委員会 委員長 菅 義尚
2012年12月8日(土)大広苑に於いて開催した忘年家族例会の決算について報告。
家庭集会を2月上旬までに「職業奉仕について」をテーマに開催して下さいますようお願い致します。
家庭集会の助成は行いませんのでご了解下さい。

外部卓話



竹原市教育委員会
教育長 竹下 昌憲様

ロータリークラブの皆様方には、平素よりキャリア教育をはじめ、さまざまな視点で竹原市の教育をご支援いただき大変ありがとうございます。

また、本日はお招きにあずかりましてありがとうございます。重ねてお礼申し上げます。本日は竹原市の教育推進についてのお話をさせていただきます。

昨今、いじめ、体罰などが全国的な社会問題となっております。教師からの体罰問題、いじめによる子どもの自殺問題、教師の自殺問題、さまざまな状況が全国的にあります。竹原市では小学校10校、中学校4校、計14校ありますが、教師や子どもへのアンケート調査を実施しています。そしてどんな小さな事案でも報告するよう各学校には指導しております。

トップがいじめは絶対に許されないことだと云う強い認識を持つことが、教職員、子どもへ反映される。そして子どもの小さな変化を見逃さない、ちょっとした変化でも気付けるようなネットを常に教師は持つておくことが大切だと思います。また、もし起きた場合は組織的に取り組んでいこうと、常日頃指導いたしております。

教育現場では、いじめ・体罰は絶対にあってはなりません。さらに気持ちを引き締めて、日常的に取り組んでいきたいと思っております。

「心に連るる姿」という諺がありますが、心は品格や形になり、自分の思っていることが外形にでますよと云う意味です。姿勢は至誠に通ずるという言葉もあります。心の誠が姿勢に現れて出ます

よということです。

要するに、柔道・剣道・茶道でもそうですが、形を覚えて、心が入る部分もあります。形を身につけて息吹、心を吹き込む、こういったことも大事であると思っております。

また学校経営は具体化しなければなりません。校長はビジョンを持っています。そのビジョンを具現化する人材を育てなければ学校経営はうまくいきません。「PDCA」という言葉があります。プラン、ドゥ、チェック、アクション。

要するに計画を立て、実践・評価・改善、そのサイクルの中で進捗状況を把握しながら取組みをすることが大事だと思います。

そして、人材育成を図る。人材の「材」は財産の「財」であるという気持ちで学校の先生を一人一人大切に、日常的な仕事を通して、先生の資質を高めることが必要であります。

そして地域・保護者と共に子どもを育てる。開かれた学校を常に意識する。迅速に、正確に、機動力を持つ。なかなか難しいことですが、迅速・正確・機動力、常に意識することによって高まって来ると云う部分もあります。校長先生方を通してこのような事を学校へお願いしております。

竹原市においてはICT活用教育（インフォメーション・アンド・コミュニケーション・テクノロジー）を推進しております。電子黒板を使うことにより、より活発な子どもの学習表現活動を促し、教師の創意工夫した授業が展開できると期待しております。ただ去年の9月に電子黒板を購入しましたので、全ての先生が卓越した活用技術があるわけではありません。教育委員会の研修以外に先生方が技術を高めようと自主的に集まって研修会を行っています。先生方のモチベーションが高い中で子どもたちの力もつくと思います。

今後も気を緩めず、子ども達が通って良かったと思える学校づくりを行いたいと思っております。

皆様方にはご支援ご協力をお願いすることがあると思っておりますが、今後共々協力よろしくお願い致します。

出席報告

総員 34名	出席 22名	マーク 7名
欠席 3名	免除 2名	出席率91.18%